

二年	国語	Gアップシート	読む3
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

★徒然草を読んで、お気に入りの段を紹介し合おう

◇国語の授業で徒然草を学んだ岩田さんの学級では、教科書以外の段も読んでお気に入りの段を見つけ、紹介し合うことになりました。そこで岩田さんは、第六十八段を読んで紹介することにしました。

A (注二)筑紫に、(注三)なにがしの押領使などいふやうなる者のありけるが、(注三)土大根を万にいみじき薬とて、朝ごとに二つづゝ焼きて食ひける事、(注四)年久しくなりぬ。

B ある時、(注五)館の内に人もなかりける隙をはかりて、敵襲ひ来りて、囲み攻めけるに、館の内に兵二人出で来て、命を惜しまず戦ひて、皆追ひ返してげり。いと不思議に覚えて、「(注六)日ごろこゝにものし給ふとも見ぬ人々の、(注七)かく戦ひし給ふは、いかなる人ぞ」と問ひければ、「年来頼みて、(注八)朝な朝な召しつる土大根らに候ふ」と言ひて、失せにけり。

C (注九)深く信を致しぬれば、かゝる徳もありけるにこそ。

〔徒然草〕第六十八段

- (注一) 今の九州地方
- (注二) なんとかの押領使という者がいたのだが。押領使とは兵を使って地方の治安を守る役人
- (注三) 大根を何にでも効く薬だと思って
- (注四) もう何年にもなった
- (注五) 家の中に家来がいない隙を狙って
- (注六) ふだんはこの家においでになるとも見えない方々が
- (注七) このように戦っていたのは、どういう人たちなのですか
- (注八) 毎朝召し上がっていらっしやる大根でございます
- (注九) 深く信じて行えば、このような御利益もあるものだ



二年
国語
Gアップシート
読む3

組
番・氏名

★徒然草を読んで、お気に入りの段を紹介し合おう

問一 岩田さんはこの文章を読んで、「なにがしの押領使という人は珍しい人だ」という感想を持ちました。どういう所が珍しい人だと考えたのでしょうか。次のア～オから最も適切なものを選びなさい。

- ア 毎朝大根を二本食べていたこと
- イ 館に自分一人だけでいたこと
- ウ 二人の兵だけで館を守ったこと
- エ 必死で戦って敵を追い払ったこと
- オ 大根を自由に操ることができること

【描写の効果を考えて内容を理解する】

問二 いと不思議に覚えて、とありますが、何が不思議なのですか。最も適切なものを次のア～オから一つ選びなさい。

- ア どこからともなく敵が現れたこと
- イ 見たこともない二人の兵が現れたこと
- ウ 二人の兵が不思議な戦い方をしたこと
- エ たくさんいた敵を全員追い返したこと
- オ 自分が敵にやられずに助かったこと

【登場人物の言動の意味を考えて内容を理解する】

問三 この文章は、それぞれ意味を持ったA～Cの三つの部分で構成されています。それぞれの部分はどんな役割になっているでしょうか。次のア～キから、最も適切なものをそれぞれ選びなさい。

【構成や展開について考えをまとめる】

- ア 筆者の意見・感想を語る部分
- イ 具体的に物語を語る部分
- ウ 作者の意見の根拠を証明する部分
- エ 問題提起で読み手の興味を引く部分
- オ 物語の設定を説明する部分
- カ 全体をまとめて次につなげる部分
- キ 物語のおもしろさを説明する部分

A
B
C



問四 **B**の部分には、二人の兵の、なにがしの押領使に対する強い気持ちを表している表現があります。その部分を六字で書き抜きなさい。

【描写や比喩の表現について考えをまとめる】

問五 岩田さんは**C**の部分を読み、自分の生活の中でも同じようなことがなかったか考えてみました。次のア～オのうち、本文の内容と最も合っているものを一つ選びなさい。

【自分の知識や経験を生かして感想をまとめる】

ア ピーマンが嫌いなのを我慢してできるだけ食べるようにしていたら、いつの間にか好きになって母にほめられた。

イ サッカーが上手になるように毎日ドリブルの練習をしていたら、チームの誰よりもドリブルで速く走れるようになった。

ウ 遠足のだいぶ前からてるてる坊主をつるして毎日祈っていたら、当日は素晴らしい天気になって楽しい遠足ができた。

エ テストの前にはしっかりと計画を立てて毎日勉強していたが、当日は意外な問題が出て上手く解くことができなかった。

オ 図書室の掃除を委員として毎日ていねいにやっていたら、委員以外の友達が友達が二人来て手伝ってくれた。

--



【読む3 徒然草を読んで、お気に入りの段を紹介し合おう】

問一 ア 問二 イ 問三 **A** オ **B** イ **C** ア 問四 命を惜しまず
問五 ウ

解説

問一 描写について自分の意見を持ちながら読む事は、内容の深い理解につながります。話の流れに疑問を感じたり、不自然さを感じたりする部分に作者の意図が込められている場合が多いので、そういう部分がないか意識して読んでいきましょう。

問二 文章の中に登場人物の心情が直接描写されている時には、その心情になった理由を考えるようにすると内容の深い理解につながります。

問三 文書の構成の仕方は、古典でも現代文と変わらないことが多くあります。これまで読んだ現代文の文章の構成の仕方を思い出して、古典の構成の理解に役立てましょう。基本は「導入↓展開↓まとめ」です。

問四 文章中で心情を直接表現している部分の他にも、情景や行動の描写によって心情を間接的に表現することがあります。「戦う」という行動でも、「どのように」「戦うのか」という部分に心情が表されることがあるので注意しましょう。

問五 物語のテーマを自分の知識や経験に結びつけてとらえると、作者の表現意図に近づくことができます。特に実生活の中の出来事に重ねることができれば、作者が何を言いたかったのかをより具体的にイメージすることができます。この問題では「信じていたことによつて、人間の力の及ばない部分で良いことが起こった」ものを選びます。